



▲いきいきサロンへ遊びに来てネ！（松原上公民館）

かごしま
あいら
市議会だより

No.21 9月定例会
平成27年11月30日発行

声	報告	決算	補正
傍聴席から	ギカイの窓	歳入 歳出 475億円	マイナンバー制始動
24	23	2	10

審査

歳入 **495**億円
歳出 **475**億円



▲平成26年度竣工した消防本部庁舎

会計別
決算額

特別	一般
歳入	歳入
175億	320億
70万円	5257万円
歳出	歳出
165億	309億
193万円	9847万円

第3回定例会(9月議会)は、9月4日から10月9日までの36日の会期で開かれました。

平成26年度決算のほか、27年度一般会計・特別会計、補正予算(災害関係など)、条例改正5件、陳情2件並びに発議2件を審査しました。

全ての議案について慎重な審査、活発な議論を重ねた上で陳情1件を趣旨採択として、残りの議案は全て原案のとおり可決・採択しました。

(審査の着眼点)
議決された趣旨と目的に沿って効率的・的確に執行されたか。
それによってどのような行政効果が発揮できたか。これからのような改善工夫がなされるべきか。

財政運営は、前年度比でやや悪化
決算審査は、「26年度一般会計歳入歳出決算」から「特別会計」10の事業勘定及び施設勘定のほか「公営企業会計」水道事業」までの13件を行いました。
決算審査特別委員会を設置し、総務、文教厚生、産業建設の3班に分かれて、監査委員の意見書や執行部が提出した成果報告書等に基づき現地調査まで実施しました。

平成26年度

決算

一般会計

財政運営は概ね健全であるが、大型公共工事が増えたため前年度比でわずかながら悪化しています。

一般会計の歳入額は、320億5257万円で前年度に対して30億6034万円の増です。歳入額のうち、自主財源は101億3051万円に留まります。歳出は予算現額289億3400万円に対して、執行率は96・1%です。（詳細は4・5ページ）

○評価する点
松原なぎさ小学校と給食室別棟が完成し、子ども達の教育環境の整備が整い、市内外から注目を集めた。

新規就農者支援事業の意義や目的を踏まえて運用されたことで、新規就農者も後継者も増加し、さらに継続して就農しており、就農者の定着が図られた。

中山間地域移住定住促進事業については、16世

帯58人が対象地区に移住し、中山間地域の活性化、地域づくりに寄与することができた。

特別会計

国民健康保険と介護保険特別会計等です。

国民健康保険特別会計事業勘定は6億円の黒字

国民健康保険は、歳入98億1288万円、歳出91億9088万円で6億2200万円の黒字です。徴収率は、前年度比0・8%上昇し71・9%です。

○評価する点
40歳以上75歳未満の被保険者および被扶養者を対象として、生活習慣病予防のための健診・保健指導が実施されています。

これを、特定健康診査（特定健診）・「特定保健指導」といい、各医療保険者は実施が義務づけられています。この特定保健指導等の終了率が大幅に改善された。

介護保険特別会計事業勘定は

歳入63億2514万円、歳出60億277万円で3億2238万円の黒字です。要介護認定者は3773人で対前年比51人の増です。介護サービス給付費は、短期入所療養介護が減り、居宅療養管理指導が増加、他に訪問リハビリ、通所介護等が増しました。

公営企業会計

水道事業会計

収益的収入は13億5742万円、収益的支出は9億6752万円で、3億8989万円の黒字です。

年間配水量は856m³で前年度比2%減です。配水管の全延長は約500kmで40年を過ぎた老朽管は1割程度です。年間5kmを目標に布設替えを行っています。

老朽管等の更新工事や配水管の新設工事560

0mを布設、船津浄水場の汚泥濃縮施設の運用を開始しました。中津野水源取水さく井工事を施工しました。

○評価する点

船津浄水場に覆蓋を設置し、テロ対策と共に火山灰の降灰対策も出来るようになった。



▲加治木小学校創立30周年記念 秋季大運動会の入場行進

健全な財政運営



▲新設校 松原なぎさ小学校

良好な財政各指数

始良市議会では、決算審査特別委員会を設置し慎重に決算審査を行いました。
財政各指数は、全国の類似団体と比較しても、良好な数値となっていました。

今後とも、限られた財源で、最大の成果が得られるよう行財政運営に努力することを求めています。（具体的な指摘事項は7ページ）

一般会計
9億5654万円
の黒字

歳入歳出差引額は10億5410万円です。

翌年度へ繰り越すべき財源9755万円を差し引いた実質収支額は9億5654万円で黒字決算です。

経常経費等の削減に努力を

経常収支比率は、財政構造の弾力性及び硬直度を示すものです。

当年度は91・3%で、前年度比02ポイント高くなっています。

やや硬直化してきており、更なる経常経費等の削減に努める必要があります。

負債返済の割合マイナス0.5ポイント

収入に対する負債返済の割合を示す数値が実質公債費比率です。

この割合が18%を超えると、新たな借入をするために、国や県の許可が必要になります。

平成26年度は11・8%で、前年度比マイナス0.5ポイントです。

自主財源の適切な確保を

財政の構成比は、自主財源32%、依存財源68%です。

前年度に比べて自主財源が1.9ポイント低くなっており財政基盤は堅固であるとは言えません。

行政サービスの質を向上させるためには自主財源の適切な確保が不可欠です。

投資的経費70億6949万円

行政水準の向上のための投資的経費は、対前年度比で62%高くなっています。

決算額は70億6949万円です。

内訳は、普通建設事業費68億3115万円、災害復旧費2億3834万円です。

一般会計 特別会計 決算分析

市債（借金）一覧表

（単位：万円）

区 分	平成25年度末 残 高	平成26年度 償還額	平成26年度 借入額	平成26年度 残 高
一 般 会 計	3,253,760	347,843	435,660	3,341,577
北 山 診 療 所	1,683	90	0	1,593
簡易水道施設	83,868	5,520	0	78,349
農業集落排水	50,785	2,737	0	48,048
計	3,390,097	356,190	435,660	3,469,567

市債（借金）は一人あたり約45・7万円
市債は346億9567万円です。前年度比7億9470万円の増です。市民一人当りの借金は、平成27年3月末日の人口7万5907人で割ると約45・7万円です。

基金残高一覧表

（単位：万円）

区 分	平成25年度末 残 高	平成26年度中 増減高	平成26年度末 残 高
財政調整基金	335,540	39,700	295,840
減債基金	72,670	13,930	58,740
土地開発基金	106,860	100	106,960
庁舎建設基金	55,600	4,450	60,050
地域福祉基金	60,795	0	60,795
その他の基金	188,589	11,584	177,005
計	820,054	60,664	759,390

基金（預金）は一人あたり約10万円
前年度比6億664万円の減です。減額は財政調整基金や減債基金、介護給付費準備基金の取り崩しが主です。増額した基金は、庁舎建設基金、過疎地域自立促進基金等があります。

会計別の決算額比較と割合

（単位：円）

項 目	決 算		歳出構成比率%	
	歳 入	歳 出	26年度	25年度
一 般 会 計	32,052,571,196	30,998,465,530	65.26	63.48
特 別 会 計	17,500,699,884	16,501,928,266	34.74	36.52
国 保 事 業	9,812,879,887	9,190,881,682	19.35	20.58
国保施設事業	63,800,519	54,455,251	0.11	0.18
後期高齢者医療	973,024,881	945,355,856	1.99	2.00
介護保険事業	6,325,142,369	6,002,766,083	12.64	13.08
介護保険サービス	77,990,242	71,854,183	0.15	0.16
簡易水道施設	120,264,823	115,624,796	0.24	0.26
農業集落排水	60,669,974	58,556,077	0.12	0.12
流域下水処理	65,522,024	61,100,606	0.13	0.13
農林労働者災害共済	1,339,973	1,269,480	0.00	0.00
土地区画整理	65,192	64,252	0.00	0.00
合 計	49,553,271,080	47,500,393,796	100	100

特別会計は国保・介護の割合が高い
歳出総額の割合で一般会計65・26%、特別会計34・74%で、前年度より15ポイント特別会計の割合が減っています。特別会計の内訳でみると国民健康保険事業19・35%（前年度比1・23%）、介護保険事業が12・64%となっています。

用語集

財政調整基金

自治体が財源に余裕がある年に積み立て、不足年に取り崩すことで財源を調整し、計画的な財政運営を行うための預貯金。他に、地方債の返済を計画的に行うための「減債基金」、大規模施設の整備などのために積み立てる「その他特定目的基金」がある。

分析 結果

経常収支比率は91・3%となり、前年度より02ポイント上昇しています。類似団体の89・6%と比較してやや高く財政構造の硬直化が進んだといえます。

自主財源は32・0%であり、前年度比で19ポイント低くなり、類似団体と比較すると92%低く、依然として財政基盤は堅固であるとはいえません。普通交付税の合併算定替効果は平成26年度までです。27年度以降は減少が現実なので、行政サービスの維持のためには自主財源の適切な確保が不可欠です。今後は、より厳しくなる方向にありますので、一層の財政健全化運営技術の向上に努力することを目指し、平成26年度決算を賛成多数で認定しました。

行政の取り組みを検証

平成25年度決算審査特別委員会は、審査のなかで市が解決すべき課題を指摘しました。

指摘された課題が、平成26年度事業でどのように解決されたのかを検証しました。

その中で身近なものを紹介します。



▲ 高齢者福祉の充実を

特養への待機者解消

平成29年度から増床

現状認識と問題点

平成26年8月28日現在
入所申込者数は、298人です。
このうち、医療機関や他の介護保険施設等を利用中の方々が271人で、残りの27人が在宅での入所申込をしている状況です。

具体的解決策

平成26年度に策定した第6期介護保険事業計画において、特別養護老人ホームのサービス量を29年度から58床増やすこととしています。
今後、計画推進に向けて県との協議を行い、平成29年度からの増床による運営開始に向けて準備を行います。



▲ 限られた資源を有効に

資源ごみの分別ごみの減量化

収集方法を検討

現状認識と問題点

資源物収集方法は市内全域で統一が図られ、分別も徹底されています。
現在の資源物収集が定着するにつれ、人口が増加する中で家庭系の可燃ごみ排出量は横ばい状態にあり、世帯あたりの搬出量は減少しています。
引き続き広報の利用などにより更なる充実を図っていく事が求められています。

具体的解決策

現在定着している資源物集荷所での収集については、更に増設するか、また収集時間の見直し等が検討されるべき課題として残っています。
今後は利用状況を分析し、より市民が利用しやすい収集方法を検討していきます。

26年度決算 主な指摘事項

一般会計

- 市税徴収の努力は評価するが、加治木総合支所・蒲生総合支所の税務分室と連携を取り、更なる財源確保に努めること。
- 加治木・蒲生総合支所が身近な役所として機能の維持向上を図る上からも、総合支所長への権限や予算の拡充を図ること。
- 介護・保育等福祉の労働現場の処遇改善を促し、労働力不足の解消につなげること。
- 発達障害等医療・福祉・教育における問題に対する専門の指導員を早急に配置すること。
- 鳥獣被害対策の農政課と林務水産課の2課での対応は、防除と捕獲のそれぞれの対応が2極化を生みだすので、有害鳥獣被害対策の窓口を一本化すること。
- 物産館建設に向けて6次産業に関する事業を積極的に推進し、農業者の所得向上と生活の安定化を図ると共に、市民への安全安心な食材の供給に努めること。

特別会計等

【国民健康保険事業】

- 北山地区などにおいて、医療介護など福祉のモデル地区としての整備を急ぐこと。

【後期高齢者医療】

- レセプト点検を徹底し、重複・頻回受診者の解消を図ること。

【介護保険】

- 更なる保険料の徴収に努め、未納をなくすこと。

【農業集落排水事業】

- 農業集落排水施設の使用料未納者への対応は、関連部署と連携して徴収に努めること。

【地域下水処理事業】

- 污水处理施設の整備のための長期的ビジョンを策定し、污水处理施設の整備計画を明らかにすると共に、来るべき建替えや大規模な改修等に備えるため、基金の積み立てを着実に行うこと。

【水道事業】

- 引き続き老朽管の布設替えに努め、漏水対策に取り組むこと。

採決結果 / 討論

平成26年度一般会計 歳入歳出決算認定

認 定

賛成21

反対2

（反対討論）堀 広子
職務の責任、困難度が同じ場合の臨時職員は同一労働、同一賃金に向け改善を求める。生活保護費削減は、子どもの貧困、貧困の連鎖をさらに深刻化させる。道路維持補修費は予算の組み方を工夫し市民の要望にこたえるべきである。

（賛成討論）森川和美
行政運営を進め、市民のニーズにこたえるには財源確保が重要である。歳入、市民税収入共0.3%前年比プラス、国県の補助金も確実に確保している。歳出も雇用拡大や元氣なまちづくり、また防災拠点の消防本部建設、待機児童解消への努力、子どもたちの教育環境の充実など、随所に努力と工夫がなされている事を評価する。

（賛成討論）田口幸一
松原分譲地等の販売に努め、市税収入の実績があがり、自主財源の確保に努めた。待機児童、高齢者福祉施設の解消に努め、スーパーサイエンス事業は、児童、生徒の科学的思考力を高めた。道路補修等に取り組み、実績があがった。



▲生まれ変わった「さんさ乃湯」

サンライト化成(株)企業立 地促進補助 **2531**万円



▲隣接地を購入

企業立地促進事業により、三拾町工業団地で精密機械部品を製造しているサンライト化成(株)が隣接地を購入するにあたり、土地取得価格8437万円の30%を補助するものです。

従業員は、今回市外から4名採用し平成28年には8名の採用を予定しています。

住みなれた自宅や地域で生活できるよう、在宅サービスや地域密着型サービス充実のために、県補助金を活用して、介護施設等の整備を支援するものです。

重富小学校区内に認知症高齢者グループホームの建設にあたり、建設費3200万円、備品購入

グループホーム建設補助

4317万円

等の開設準備経費1117万円の補助です。

可決
賛成19名
反対4名

補正

暮らしやすいまちづくり

県内一暮らしやすいまち「始良市」をめざして身近な事業をピックアップしました。

漆地区交流センターの改修 **700**万円

漆地区交流センターを改修し、地域住民が要援護者に対する見守り活動、子どもの学習支援、多世代交流・多機能型支援の拠点として整備するものです。

内容は、外壁の張替え、畳の間の設置、和式トイレを洋式へ、側溝の改修のほか備品として机の購入があります。



▲活用が期待される交流施設

帖佐小学校外国語教育 **21**万円

帖佐小学校が文部科学省・国立教育研究所の指定を受けました。子ども達が積極的に英語によるコミュニケーションを図れるよう、指導のあり方を研究するものです。

研究補助21万円で決定しました。今までの市内外の研究会で高い評価を受けており、来年11月に発表の予定です。

補正予算額 (災害復旧費用を含む)

1億7,862万円

予算総額 **287億6,289**万円



大山小学校 12月1日廃校

蒲生の大山小学校は、児童の減少により平成19年4月1日から28年3月31日まで休校措置がとられています。

大山校区の住民には、平成26年8月にアンケート調査が実施されました。議会と住民との意見交換会も行い、廃校やむなしとの多くの意見を確認しました。

このたび、大山小学校を工場及び事務所として活用したいと企業からの



申し出があり、地域活性化に繋がるという総合的観点から、平成27年12月1日に廃校になります。

国が定める幼稚園就園奨励費補助金等の国庫補助限度額等が改正されました。

市町村民税の非課税世帯及び所得割非課税世帯に対する補助限度額が引き上げられたことにより、市立幼稚園について、4900円から3000円に改定します。本年4月



1日に遡って適用されます。

幼稚園、保育料
4900円から3000円に

台風15号 災害復旧費用 など追加



台風15号は8月24日から25日にかけて始良市に接近しました。

市内の自主避難者数は76世帯105人。市内各地で屋根の破損や倒木が相次ぎ一時は、3路線・3箇所で開催止めとなりました。

幸いにして人的被害はありませんでしたが最大1万7000戸が停電し、道路の倒木等で停電復旧に4日間を要しました。

市有施設や市道の復旧に必要な経費2625万

円です。



▲倒壊した加治木運動場ベンチ



▲蒲生大楠球場のベンチとフェンス



▲被害を受けた農地

議 決 TPPの 情報提供を

10月5日環太平洋パートナーシップ（TPP）協定交渉は、大筋で合意したと発表されました。

合意内容について、詳細な情報提供を行い、協定が農業や関連産業に与える影響を分析し、速やかに公表すること等の要望を衆議院議長等に意見書として提出しました。

マイナンバー制度が始動

番号法が公布され、行政の効率化国民の利便性を高め、公平・公正な社会を実現するため、住民票を有する全ての市民一人一人に個人番号が付与されます。

個人番号の利用に関し厳正な管理と適正な運用を行うっていくため、「個人番号の利用に関する条例」を制定するものです。

この条例の制定に伴い、市手数料条例や、市個人情報保護条例等も一部改正されます。

附帯決議
マイナンバー制度は、行政側にとつてはメリットの大きい制度である。

しかし、国民は年金機構の漏えいや個人情報流出問題で国の情報管理に不安を感じている。

よって、当局においてはセキュリティ対策に万全な体制でのぞむこと。また、市民に対してはあらゆる手段を講じて制度

の説明に徹すること。

反対討論 本村良治

国が公正で公平という説明で個人の情報を管理しようとしている。先の国会で強行採決された安全保障法案と一緒に戦前に似てきた。この背景を考えると恐ろしい気がする。

反対討論 渡邊理慧
マイナンバー制度は個人情報の漏えいを前提とした対策が確立されていない。流出すれば、拡散した情報を消去、回収することは困難である。不安が広がる中で進められており、個人情報保護を大きな危険にさらすことを指摘する。

反対討論 神村次郎
官民のあらゆる分野の個人情報保護を一枚のカードにまとめる「ワンカード化」をめざしている。番号にくっつけた個人情報に価値が出てくる。行政の効率化よりも、管理・

監視する道具と化していくのではないかと不安。

反対討論 堀 広子
主要7カ国の中で、日本のように全員強制、生涯不変・官民利用の番号制度を導入している国はない。すでに導入の国々では、個人情報流出して被害が発生し、中止や見直しをしている。日本のマイナンバーは世界の流れに逆行する制度だ。

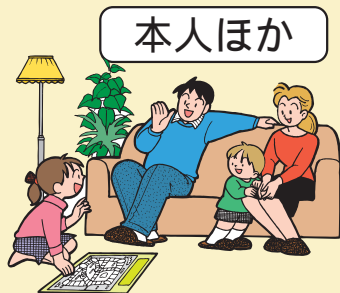
可決
賛成15名
反対8名

その他の条例

● 手数料条例

● 個人情報保護条例及び情報公開・個人情報保護審査会条例

マイナンバーには、利用・提供・収集の制限があります。



本人ほか

個人番号
1234...

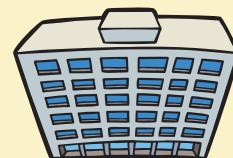
マイナンバーの提示



民間事業者

源泉徴収票・支払調書等の提出

行政機関



マイナンバーの利用制限

- マイナンバーの利用範囲は、法律に規定された社会保障、税及び災害対策に関する事務に限定されています。本人の同意があったとしても、利用目的を超えて利用することはできません。例：マイナンバーを社員番号に利用することはできません。

マイナンバーの提供の要求

- 社会保障及び税に関する書類の作成事務を行う必要がある場合に限り、本人などに対してマイナンバーの提供を求めることができます。

マイナンバーの提供の求めの制限

- 法律で限定的に明記された場合を除き、マイナンバーの提供を求めてはなりません。

特定個人情報の提供制限

- 法律で限定的に明記された場合を除き、特定個人情報を提供してはなりません。

特定個人情報の収集制限

- 法律で限定的に明記された場合を除き、特定個人情報を収集してはなりません。

(始良市住民説明会資料から)

陳情 2 件

採 択 1 件

趣旨採択 1 件

市営温水プールの設置を求める陳情書

趣旨採択

陳情者 野村 昭也

陳情の趣旨

市営の温水プールが欲しいという市民の要望は根強くある。子どもから高齢者まで健康づくりと楽しい交流の場として、「市営温水プール」は市民生活の向上に不可欠の施設といえる。一日も早く「市営温水プール」を設置して頂けるようにお願い、陳情する。

委員会審査

委員会審査では、願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てないとの結論から趣旨採決となりました。

本会議では、3名からの原案についての賛成討論がありました。

賛成討論 渡邊理慧

気軽に利用したい時に市外へ足を運ばなければならぬという現状で、以前からたくさんの要望がある。

財政のことは首長が決めることであり、議会は市民の代表として耳を傾けるべきであるため、原案に賛成する。

賛成討論 谷口義文

温水プール設置に関しては、多くの市民の長年の要望が根強くある。民営の施設が一箇所しかない。議会ももっと多方面からの意見を取り入れ議論を深め切なる願いを継続して検討していくべきと捉える。

賛成討論 堀 広子

気持ちや趣旨は理解できるといった理由では、趣旨採決とすべきでない。プールは健康増進を図る福祉的施設である。一般質問・答弁で市長は「庁舎建設と合わせ今後検討」とある。補助金の交付もあり実現不可能ではない。

採決結果

採決結果は、12対11で趣旨採決となりました。



▲ 準人健康温水プールはリハビリにも活用されている

川内原発2号機の再稼働に当たって九州電力に対して住民説明会の開催を求める

採 択

陳情者 山中 六江

陳情の趣旨

九州電力は、8月川内原発1号機の再稼働に踏み切った。しかし稼働直後、復水器から海水漏出事故が発生している。

9年以上も点検していなかった2号機の蒸気発生器は問題を抱えている。

蒸気発生器・取替えについては、許可が出ているが、未だ交換されていない。

始良市が至近距離に当たることを考えれば、議会として九州電力に対して2号機の再稼働に当たって自治体で、公開の場で住民説明会を開催されるよう申し入れていただきたい。

反対討論 堂森忠夫

県が再稼働を認め、世界最高新規基準に適合し安全性が確保された結果を県は住民説明会を開催する。議会が方向を示す事は、市の不利益で控えめが良い結果を生む。県要請等の連携活動で良い。原発は徐々に減少で調整が必要だ。

賛成討論 本村良治

川内原発1号機は再稼働したが、多くの課題が残されている。使用済み核燃料の再処理技術は未完成で、9年間も復水器は点検されず使われている。

。説明会を開き新基準で安全になったところを住民に説明すべき。

賛成討論 田口幸一

復水器から海水漏水事故が発生したこと、加圧水型原発は1次系、2次系3次系のすべてが関連して1つのシステムを作っている。2次系が機能を失う、あるいは3次系が機能を失えば、結局は1次系も破壊されてしまう。

賛成討論 神村次郎

原発の安全性、避難計画の実効性等の課題にも市民は不安を持っている。原発事故の第一義的責任は、事業者にあることは新規基準でも明確にされている。不安解消の為に、公開の場での説明会を開催すべき。

採決結果

賛成16、反対7で採決しました。

街路事業

森山・松原線の整備

市長／5か年の予定で道路整備を行う



和田里志議員

和田 街路森山線及び松原線の整備計画について問う。

市長 昨年12月に都市計画事業の許可を受けて事業期間が5か年の予定で整備を行う計画である。本年度用地取得と建物移転補償を予定し、28年

度から本格的工事を行い、30年度完成を見込んでいます。

城瀬東線については、イオンタウン始良の建設に伴い、周辺道路の完成状況を見極めながら、計画を進めていきたいと考えています。

附属機関のあり方

市長／再検討し、見直しを指示

和田 附属機関の数および設置・運営に関する指針を設けているか。



▲30年度完成を見込む都市計画道路森山線と松原線

政を問う 質問

市長 条例で定めた附属

機関は40、規則や要綱で定めた機関は52となっている。指針等の策定については、設置目的などを再検討し、存続の要否や委員の定数や整理統合についての見直しを指示している。

委員の重複を制限し、女性委員の積極的な登用に努めていく。

その他の質問

○介護保険事業計画と、子ども・子育て支援事業計画



湯川逸郎議員

ゴミ処理の市民負担

市長／1億9,186万円

リサイクル経費

家庭のごみ・資源物を出す曜日		
毎週		新聞・チラシ/段ボール 紙箱・包装紙等/雑紙類/紙パック
月	第1・3	衣類
	第2(月1回)	電球・蛍光灯/乾電池/スプレー缶類
火	毎週	もやせるごみ
水	第1・3	もやせないごみ
	第2・4・5	缶・びん/ペットボトル
木	毎週	プラスチック容器類
金	毎週	もやせるごみ

▲早く身近なごみステーションでの取り扱いに

湯川 市民の負担にならないゴミステーションでの資源物収集への改善を強く望む。リサイクルに費やしている経費を示せ。市長 高齢者世帯などのゴミ出しだけの問題にとどまらず、包括的な対策を行う必要がある。

リサイクルに係る経費は、収集運搬・処理・集荷場所の運営費等。総額1億9186万円である。このうち、8058万円が資源物収集にかかる経費である。

地域づくりの内容は市長／徘徊模擬訓練等を実施

湯川 校区コミュニティと地域づくりで、これまで展開された事業で地域住民の要望等を協議会とともに内容を問う。市長 市内の17小学校区のうち16校区において協議会が設立され運営が開始されている。

早い時期に設立した校区では徘徊模擬訓練、夏祭り、運動会などの事業が実施されている。今後において、地域に根差したまちづくり、支援をしていく。

その他の質問
○マイナンバー制度と市民の心構え

段差の解消

今後の施策

市長／整備推進する



田口幸一議員

田口 バリアフリー化があまり進まず、高齢者や障がい者は大変困っている。段差の現状に対して、今後の施策はどうするか。市長 平成12年に交通バリアフリー法が施行され、高齢者・身体障がい者等の公共機関を利用した移動の円滑化を促進する目

的として駅・バス・道路・公園などにエレベーター、歩道の拡幅、案内版などを設置し安全性および利便性の向上を図るものとなっている。

事業については、鉄道・バスなど公共交通事業者が講じるものや、利用者が一日の3千人以上の公共施設を対象として市町村が交通事業者、県公安委員会と連携して、基本構想の指針を作成する重点整備がある。

本市においては、対象となる市の施設がないこ



▲段差の解消について

21人が市一般



鈴木俊二議員

状況は

市長／補助金制度の活用を促進

空店舗対策

その他の質問

- コミュニティ協議会のあり方
- 始良市総合運動公園陸上競技場の全天候型化
- 川内原発再稼働
- 年金

とから基本構想指針は作成していない。

公園・歩道などの建設において、バリアフリー化の取り組みを検討し、実施しているところであり、今後も必要に応じて整備推進に努める考えである。



▲入居者を待っている空店舗

鈴木 本市の空き店舗状況はどの程度あり、また今後の変化していく状況をどのように把握しているか。

市長 商店街・通里会の空き店舗率が昨年より1.7ポイント減少している。

(仮称)イオンタウン始良の開業に伴い交流人口の増加が見込まれ、市商店街空き店舗活用事業補助金制度の利用促進を積極的に行い、空き店舗解消に繋がっていくものと考えている。

自主防災組織の現状は市長／協議会単位で編成

鈴木 自主防災組織の近隣自治体と比較して、現状の分析および結成率の推移、また今後の姿はどうあるべきか。

市長 防災体制の、共助として最初の組織に挙げられる自主防災組織であり、当市では近隣自治体と比較して低い結成率だが、今後は校区コミュニティ協議会単位で編成し、共助体制の充実・強化を図っていくべきと考えている。組織率向上を図れるよう検討していきたい。



本村良治議員

洋式化の推進

教育長 / 学校の要望を優先

学校のトイレ

本村 子どもたちは家庭では洋式トイレの普及により、排便を自然に行っている。

学校での排便を家庭同様に行うために洋式化を推進する考えはないか。



▲ 水質保全が求められる重富海水浴場

水質保全

市長 / 水質の改善を

本村 重富海水浴場の水質を保全するための具体的な取り組みを示せ。

市長 重富海水浴場の水

教育長 学校のトイレを全て和式から洋式に改修する計画はない。

個々のトイレの改修や新設に当たっては学校からの要望を優先に洋式化を検討し進めていきたいと考えている。

質は比較的安定しているが、水質基準を示す値がやや低いために海水浴場水質調査では「水質B」の判定となっている。

地域生活排水対策協議会や錦江湾奥会議で水質保全の取り組みを協議し、水質の改善を図っていく。

その他の質問
。道路網の整備
。小中学校の支援員の勤務実態

地域経済の活性化

誘致活動と交流人口拡大

市長 / 調査や推進を図る



堂森忠夫議員

堂森 地域経済の活性化で次の質問をする。

① 活性化のカギは新たな活動として婚学セミナーを開講し祝福結婚した農村地区の土地を贈る貢献事業に取り組めるか。

② 戦後70年の節目 外国人専用「おもてなし会館」日本文化とマナー教育開設を県・国へ働きかけて我市へ誘致活動と交流人口拡大に取り組めるか。

③ 太陽光と同等に小水力や温泉の地熱発電事業推進を図れないか。



▲ 婚学での祝福結婚者に土地を贈り活性化へ

④ 近隣市町村と連携し里山里地保全を図り餌付けで鳥獣生物が共存可能な管理運営に取り組めないか。

市長 ①本市に魅力を感じ定住に繋がる取組みを含めて調査・研究する。

② 外国人観光の移動手段

の充実・利便性向上や、受け入れ体制整備を検討していきたいと考えている。

③ 地熱発電施設を計画される事業者もある。積極的な支援を図っていきたいと考える。

④ NPO等の保護推進員と連携を図り、適正な保全に努める。

その他の質問

。家庭教育
。野良猫の対策

橋梁整備

池田上・下橋の整備

市長／31年度から補修・修繕



神村次郎議員

神村 中野長谷線に架かる池田上・下橋は老朽化が進み早期の整備が必要である。今後の整備計画を問う。

市長 高速道路の作業用道路として昭和49年に架設され41年経過している。橋梁長寿命化計画では早い時期での補修・修繕が必要であるという調査結果が出ているので、平成31年度から補修・修繕の実施を考えている。



▲老朽化した池田下橋

平和資料館

市長／整備保存に努める

神村 戦後70年、悲惨な体験等を記録として残すなど平和への願いを後世に伝えるために市で平和資料館等の整備は考えないか。

市長 後世に伝える為の貴重な資料として残していくことは非常に重要なことと認識する。

資料館の整備を行う計画はないが、市立図書館・歴史民俗資料館等において資料の整備保存に努めて活用していきたいと思う。

その他の質問

○川内原発再稼働

防災力向上

防災士の養成

市長／先進地を参考



竹下日出志議員

竹下 防災に関する知識と技能を習得し地域や職場で防止力を高める活動

が期待される防災士がいる。本市でも防災士を養成する考えはないか。

市長 防災士の資格は日本防災士機構が定めた研修講座の受講が必要となる。

市民への防災教育と地域防災力の向上には防災



▲地域の皆さんと避難訓練を実施（脇元地区公民館）

士の養成は重要であり、先進地を参考に検討する。

高齢者や障がい者への読み書き支援

市長／適切な提供に努める

竹下 視覚障がい者や視力の低下した高齢者は個人情報に関わる読み書きは大きな悩みである。

本市でも読み書きサービス（代読・代筆）を実施する考えはないか。

市長 現在、居宅介護の家事援助や同行援護により必要に応じた代読・代筆サービスを提供している。

今後、代読・代筆サービスの周知を図り利用者に必要な支援が適切に提供できるよう努める。

その他の質問

○18歳選挙権の実施に向けた取組み



▲働く場をさらに

定期代

全額助成等を

市長／調査研究していく



森川和美議員

森川 若者を地元に着させるには地元での就職の後押しが必要である。県内、市内で働くのを条件に奨学金の返還の一部免除や高校生・大学生

の定期代全額助成等を考えないか。
市長 地域に働く職場をつくり、安心して働けるようにするために、多様な企業進出を促すことが大切である。
提案の奨学金制度および通学定期代の全額助成については、県内の自治体の動向を見ながら調査研究していく。

買い物弱者対策

市長／調査を行い、研究していく

森川 山間部、過疎地域では人口減少に伴い、商店などの廃業が相次いでおり、不便を感じている。住民および地域の買物弱者対策として移動販売車の導入施策を検討し補助する考えはないか。
市長 山間部や過疎地域においては地域に買い物ができる場所がないことや市街地においても買い物に行くことが容易でない方もいるし、移動販売者車の運行は有効な手段であると考えている。
支援のあり方については成功している先進地の調査を行い、研究していく。

買い物弱者対策は行政NPOや民間団体と協力連携が必要である。
その他の質問
。逆住宅ローン
。禁煙対策

建て替えを

市長／早急に対策を講じる

避難場所



萩原哲郎議員

萩原 旧堂山小学校、耐震強度の不明な場所を災害時の避難所として使用して良いのか。

地震等が発生した時、住民は不安であり早急な建て替えを望んでいる。
市長 地震による被害が発生した場合などは、避難場所として利用できる

い可能性がある。

今回の台風被害を受け、これまでどおり複合施設としての機能を十分に果たせるよう早急に対策を講じる。

道路改善・側溝整備

市長／市道池島・星原線は、調査研究

萩原 市道池島・星原線は、高低差があり、幅員も狭くガードレールも無い危険な道路である。

事故が起きる前に道路改善を行ったらどうか。
高樋集落一帯は、騒音がひどく眠れないとの訴えがあるが、その後の処



▲耐震強度不明な旧堂山小学校
安全・安心な避難場所を望む

置と進捗状況を示せ。

市長 市道池島・星原線の改良計画は今後調査研究していく。

高樋地区の側溝蓋による騒音解消は市道高樋・春花線および東・高樋線を今後、実施する予定である。

その他の質問

。重富中学校校舎等の改善対策
。プレミアム商品券
。西始良校区に認定こども園の設置

竹林

整備と利活用推進

市長／活性化と雇用の創出を図る



吉村 山に人が住まず、山が荒れたら下流に悪影響を与える。

里山整備の一環として竹林の整備や竹の利活用を進めるべきではないか。市長 本市の竹林面積は908ヘクタールで県内8番目。

うち整備している竹林は年間約30ヘクタールほど。

1ヘクタールあたり5000本を伐採整備して3500本を搬出の場合、県の標準整備単価で約170万円ほど。

搬出竹材売却益は、約75万円と安価なので、市独自で上乗せ補助している。



▲竹材の集荷場、奥は製造された建築壁板の保管棚

吉村 竹の利活用を進めれば、始良市の特産品開発や雇用拡大につながると思うがどうか。

市長 市内の竹林業関係者による協議会を今後設置し、荒廃竹林の調査や所有者の情報収集を行い

地元創業者の支援策
市長／創業支援事業計画を策定

生産性のある竹林に整備し地域の活性化と雇用の創出を図りたい。

資機材備蓄の整備を図れ

市長／導入支援を検討する

自主防災組織



東馬場 弘議員

東馬場 自主防災組織への防災資機材備蓄の整備に向けた支援を図るべきと考えるがどうか。

市長 自主防災組織は今後、校区コミュニティ協議会単位に編成し共助体制の充実・強化を図っていく必要がある。

現在、その編成に着手



▲防災対策は万全に

しているところもあり、自主防災組織活動において防災資機材は不可欠と考える。

消火栓の増設を希望されているがどうか。

須崎地区の消火栓の増設

市長／設置の方向で指示する

東馬場 2月に発生した火災では道路が狭く消防車両が進んでくず消火に手間取った。地区では、

その他の質問

。防災ボランティア
。マイナンバー制度

。消防ポンプ車などの進入が難しく軽トラク型ポンプ積載車両を活用している。消火栓の設置には上水管の布設替えの必要があり、水道事業部と協議して設置の方向で指示する。

認知症

きめ細やかな環境整備

市長／検討していく



新福愛子議員

「マーク」の普及に取り組めないか。
市長 「介護マーク」は広域での取組みを検討したい。市民歌に合わせた体操は関係者と検討を進めているが、コグニサイズは今後検討する。

防災行政無線の充実

市長／今後研究していく

新福 狭山市では防災行政無線の放送内容を専用フリーダイヤルで聞けるが本市で取組めないか。
市長 加治木地区だけは放送の内容を有料のテレビガイド（73-7749）で聞ける。
専用フリーダイヤルは、今後研究していく。

その他の質問

○戦後70年の取組み

新福 65歳以上の4人に一人が認知症か予備軍といわれる。
きめ細やかな環境整備として徘徊模擬訓練の状況と課題を問う。
市長 平成23年度から取り組み本年7月までに16回・993人が参加。
20〜50歳代の参加が少なく、分かりやすい内容の工夫が課題である。
新福 市民歌や音頭に合わせ、コグニサイズという予防を取り入れた市民体操を作れないか。
また、介護中に誤解や偏見を防ぐため、「介護



▲「介護マーク」で安心の介助

鹿児島市と国への働きかけ

市長／国の関係部署に要望

国道10号線



湯元秀誠議員

湯元 国道10号の4車線未整備区間の三船からの渋滞は慢性化し80万人の暮らすまちを結ぶ道路としてお粗末すぎる。
その経済損失をどう見るか。
また、どのように国への働きかけがなされているか。

市長 渋滞による走行時間短縮便益（損失）が162億円と示されている。

本年4月に鹿児島市、霧島市と連携し整備促進の要望の協議もしている。
湯元 始良市を折り返しとする「鹿児島マラソン2016」が開催される。鹿児島市からの協力要請はあるか。

また国道整備促進も視野に入れ盛り上げてはどうか。

市長 本市職員がマラソン実行委員の一人として会に出席している。

未整備区間の解消促進は大会の状況を見ながら進めていく。

大型車通行規制

市長／代替線もなく難しい

湯元 宇都トンネルは大型車の往来が増え大型の通行規制を望む声が多いトンネル増設までの規制はできないか。

また、点灯しない照明の改善を問う。

市長 離合では注意が必要で、漏水や照明も暗いことから点検・改善する。大型車については県公安委員会と協議したが代替線もなく厳しい状況である。

その他の質問

○高速道路沿線の環境整備



▲渋滞の解消が見えない10号線

安保法制

市長の见解は

市長 / 慎重な審議を求める



渡邊理慧議員

渡邊 安保法制法案（戦争法案）は多くの憲法学者が「憲法違反」と指摘している。

この法案に対して、どのような见解を持ってい

るか。市長 審議は国の専断事項であるが不戦の理念がわすかでも揺らぐことがあってはならない。



▲STOP戦争法！鹿児島集会

国民の不安や懸念が起これないよう慎重な審議を求める。

マイナンバーは中止すべきでは
市長 / 国の政策である

渡邊 マイナンバー法は社会保障の抑制・削減を進める。

プライバシーを侵害し中小企業にも大きな負担と困難をひるげ国民に利益もなく、中止すべきと考えるが見解を問う。

市長 国の政策であり、

见解を申し上げる立場にないが行政事務を効率化し国民の利便性を高め、公平かつ公正な社会を実現するための社会基盤である。
円滑な実施に向け取り組んでいる。

その他の質問

○子ども医療費無料化の拡充

マイナンバー

本市の取り組み状況

市長 / 更なる周知を図る



上村 親議員

上村 制度について、本市の取り組み状況を示せ。市長 制度の趣旨等について、市報やホームページで更なる周知を図る。

高齢者や認知症の方々の対応は簡易書留で送付されることから本人または代理人による受領が必要と考える。

上村 校区や自治会等から説明の要請がある場合職員を派遣するのか。市長 制度説明については、職員を派遣する。

上村 この制度は社会保障・税務・災害対策に利用されるが、どのような時に使用するのか。



▲いよいよ始まるマイナンバー制度

個人情報情報の安全な確保はできるのか。市長 所得の過少申告や扶養控除をチェックし、不正還付の防止に使用される。利用できる範囲は、年金・雇用保険・医療保険・福祉分野における給付等の社会保障関係の手

続きや税務関係の手続き、災害対策に関する給付や事務に係るものである。基幹系システムの改修は、計画通り実施できている。

その他の質問

○部分林条例

文化財

適切な整備と管理

市長 / 検討していく



法元隆男議員

法元 建昌城は非常に貴重な史跡であるが今後どう評価しどのようなように顕彰していくのか。
教育長 県の文化財指定を受けており将来は国指定史跡化を目指し、整備を関係部局と検討する。

法元 精矛神社のトイレ設置の進捗状況はどうか。
市長 島津義弘公の没後400年に向けて整備に取り組んでいきたい。
法元 曾木家の門の屋根は長期間葺き直しされていない。早期の改修を。
教育長 市内の他のまち歩きポイントとの関連性を考慮しながら修復の検討をしていきたい。
法元 金山橋のビューポイントが水害で毀損したままであるが、改修は。

市長 再び被害の可能性が高いのでポイントに近い右岸側の河川敷の整備を検討していきたい。
法元 黒川岬の整備を急ぐべきと考えるがどうか。
市長 関係機関への問い合わせや庁内協議を進めているが課題が山積している。
多くの来訪者が楽しめる名所づくりとして、可能なことから早期に整備できるよう、今後進めていく。



▲早期改修が望まれる曾木家の門

妊娠・出産

フローチャートでの説明

市長 / 情報提供を進める



峯下 洋議員

も紙ベースで作成している。

妊娠中の保育利用優遇
市長 / 出産後1年間継続可能に

峯下 妊娠中の母子の健康と兄弟児の健全な育成のために、保育園利用の優遇を検討できないか。
市長 妊娠中または出産

後の保護者の認可保育所等への入所要件は就労の有無にかかわらず母子の安静休養のため、出産前6週間、出産後8週間で兄弟児の入所期間と定めている。

今年度から育児休業中の方は入所している全ての年齢において出産後1年間は継続入所ができるようにした。

その他の質問

。特定妊婦の支援策
。「あいあい」「かじき
つず」の活用



▲お兄ちゃんだよ

峯下 妊産婦が行う申請などが複雑でわかりづらい。フローチャート形式で説明できないか。同様に代理人の可否を項目毎に表示できないか。
市長 妊娠から出産に関する情報についてはホームページ上の「妊娠したら」「赤ちゃんが生まれたら」の項目の中に、妊娠届や出生届・出産一時金・子ども医療費助成制度などに関する内容や問合せ先を掲載し、ダウンロードできるようにしている。
他に「子育て便利帳」

動物愛護

ペットの同行避難

市長／今後検討する



小山田邦弘議員

小山田 避難所にペットの同行は可能か。
市長 現在計画はない。
小山田 国は同行避難をガイドラインで示しており、本市の避難所運営マニュアルでもペットの扱いが示されているのに、なぜできないのか。
市長 人的避難を優先してきた。
同行避難は、今後検討する。



▲同行避難も含め、避難計画の見直しを！

小山田 避難所運営マニュアルは平成22年にできている。
なぜ5年間も放置されたのか。
市長 認識不足だった。
小山田 同行避難を避難計画に取り入れるべきではないか。
市長 国の指示もあるが、ペットの苦手な方もあり、これまで環境が整っていない。

なかったところもある。
小山田 東日本大震災を教訓にした国のガイドラインを本市の避難所計画に取り込むべきではないか。
市長 悲しい事象だが、そこに学んでいかなければならない。
歴史に学んでいくべきと考えている。
その他の質問
。人口ビジョン

児童クラブ

保護者負担の軽減を

市長／検討する



堀 広子議員

堀 児童クラブ利用料は運営形態によって違い、親の負担が大きい。
利用料が高く入所できない家庭もある。
希望するすべての子どもが入所できるよう利用料の減免を求めるがどうか。

市長 保護者負担の軽減や児童クラブへの運営費助成等、先進地事例を参考に検討していく。

堀 児童クラブ未設置（北山・漆・永原校区）の今後の計画はどのように考えているか。
市長 児童クラブの必要と連携し調査を進めている。
堀 柁城児童クラブは専用トイレがなく、プール前のトイレを使用している。

天候や防犯の面でも問題がある。
生活の場として安心安



▲元気に遊ぶ子ども達

全な施設となるようトイレ設置を求めるがどうか。
市長 利用実態等を調査し専用トイレの設置を検討していく。
堀 児童クラブの支援員は所得が低く、長く働きたくても働けない実態がある。
処遇の改善を求めるがどうか。
市長 各児童クラブが放課後支援員等の賃金改善などに取り組めるよう支援していく。

その他の質問
。医療費制度問題



広報広聴委員会 = 広報班視察 =

市民に親しまれる議会だよりづくり
京都府南丹市議会は、議会だよりを「議会と市民の架け橋」と位置づけ、市民に親しまれる紙面を目指している。

「特集・南丹市の頑張る人たち」は毎回掲載することで、市民の参加を促すとともに、その想いを具現化している。

作業効率化のために各

委員のパソコンをネットワーク化することで、誰もが、いつでも進捗状況や全体の構成を確認できるようにになっている点も参考にした。

議会の「見える化」を進める議会だより
兵庫県三田市議会は、開かれた議会、市民に身近な議会を実現するための一助とするという想い

で先取的な活動を実践している。

ターゲットを30〜40代の子育て世代に特化した、年8回の発行に挑戦したり、以前は市内の専門学校校生、現在はイラストレーターとの協働で、写真ではなくイラストによる表紙づくりを進めるなど他にない広報活動を実践している。

こうした取組みで市民からは「とつきやすくなつた」「読みやすくなつた」など好評を得ている。



▲イラストの表紙が独特な三田市議会だより

研修を終えて
議会だよりは、記録という意味で文字が多くなりがちですが、読んでもらえる文字数と、伝えなければならぬ内容のバランスを取るのが重要であると再認識した上で両市のように新たな取組みにもチャレンジしていきたいと思えます。



犬伏浩幸議員

犬伏 来春、(仮称)イオンタウン始良が開業する。帖佐駅から市役所周辺、イオンタウン始良に至るまでの環境整備・活性化策を問う。

市長 都市計画マスタープランで、商業機能の立地誘導と適正な基盤整備

海を活かした観光振興・地域活性化
市長/協働で取り組む

犬伏 重富海岸・加治木

その他の質問
。生活インフラ整備

市長 本市は、湾奥ならではの美しい桜島の眺めや、国立公園の自然等が楽しめる環境にある。地域全体で資源を再確認しながら、協働で取り組んでいく。

イオン開業

周辺の環境整備・活性化

市長/好循環に期待

を図ると位置づけている。今後、立地適正化計画の策定において検討していく。

また、駅舎やその周辺整備、巡回バスの運行等の整備を進めることにより、都市機能の充実が図られ、好循環が生まれていくものと期待している。



▲イベント開催で賑わう重富海岸

議会改革って
何してるの？



ギカイの窓



みなさんの
素朴な「ギモン？」に
答えます。

始良市議会は、議会改革推進特別委員会を中心に「市民に開かれた議会」を目指して少しずつですが、議会改革を進めています。
今回は市議会において具体的にどのような改革が検討され、具現化されているのかをいくつかご紹介します。

もっと

市民に開かれた議会へ



分析 検討

12月議会から
ネット中継も始
まります



何をすれば解決？もっと開かれた議会になる？

議会基本条例に照らし合わせ、私たち議会が現状できていること、できていないことを明らかにし、解決策を検討しました。

カルテ 診断

今、どこまで開かれている？どんな問題がある？

議会基本条例で目指している「広く市民に開かれた議会」にどこまで近づいているのかを、まずは自分たちで評価・分析しました。

カルテ診断～分析・検討で生まれた改革の姿

賛否の公表

3月議会よりすべての議案に関する全議員の賛否をホームページで公表しています。

一般質問予定表

6月議会より一般質問の予定とテーマを事前に告知するチラシの回覧をしています。

意見交換会

各常任委員会で関係する団体や地域の方々と懇談する機会を設けています。

資質向上の研修

最近では県内初の男女共同参画推進講座を受講しました。

議員間討議

委員会での審査で議員間討議を導入し、より市民目線での深い議論に努めています。

電子評決システム

議場のモニター導入に合わせ、電子評決システムを導入。早く見やすくなりました。



傍聴席から

・かねて気づかない各種のニュースを質疑応答され自分の無知度が分かり、有り難い。始良市3町の動きがよく分かりました。マイクの感度がよく分かり易かった。



男性・70代

・平日、昼間のため、傍聴者も制限される。今後、夜間、休日の開催等も検討して頂ければと思います。質問に対して、具体的な答弁がいただければと思います。



女性・50代

・娘達が妊娠・出産を迎える頃には、もっと住みやすく子育てしやすくなっていると明るい気持ちになりました。今後の希望として、子ども達ももっと知的好奇心を持てるような公共施設が欲しいです。(図書館以外で)



女性・40代

・初めての出席でした。私の選んだ人がどんな質問をするのか1度来てみたかった。素晴らしい質問、そして執行部の応答もとても良かったです。



女性・70代

・マタニティマークと言うのは知らなかったです。電車、バス等あまり乗ることがないので。シルバーシートの所にそのマークははってあるのでしょうか？



女性・50代

・始良市のふるさと納税の働きかけはなされていますか。ふるさとをなつかしく思う人とのコミュニケーションを密にし、帰ってきたい人を増やすこともお忘れなく。



女性・60代

・議場がとても綺麗に整っていました。特に質問者、答弁者の映像が大きく映し出される画面が印象的でした。出来れば傍聴者の右側壁にもう一面あれば首筋を痛めずにすんだのと思いました。



男性・80代

・市営シルバープールがないようでは困る。介護保険国保の負担額が始良市は高いです。大都市から低所得高齢者の移住政策においては、国庫から補助してもらおうべき。



女性・60代

・採決結果(議員名あり分)の表示時間が短い。傍聴席側のモニターには一瞬の表示になるためもう少し長い時間表示してほしい。



女性・40代

・もっと自分の住んでいる始良市に関心をもって欲しい。来れば意外な問題に気がつき子育ての事、学校教育の問題、地域の問題などに役立てることもなるかと思えます。



女性・60代

傍聴席へ どうぞ

車いす席もあります

次回の開会は
11月20日から

このほかにも多くの貴重なご意見をいただきました。今後の議会活動や議会運営の参考にさせていただきます。

編集後記

私は議会の合間を利用して9月末に山手の学校の運動会に参加した。子どもたちの目はきらきらと輝き、その競技も躍動感に溢れていた。その時、ふと私の脳裏をよぎったものは、やはりしも国会で強硬採決により成立させられた安保法であった。今後、この子どもたちに私の青春時代にヒットしたジローズの「戦争を知らない子どもたち」を親子で楽しく歌える日が来るのだろうか？ひとえに、このことはわれわれ大人の責任である。

編集・発行責任者 文責 本村

議長 湯之原一郎

広報広聴特別委員会

(広報班)

委員長 田口 幸一
副委員長 山崎 洋
委員 萩原 哲郎
委員 新福 愛子
委員 神村 次郎
委員 犬伏 浩幸
委員 本村 良治
委員 小山田 邦弘
委員 森 弘道
委員 渡邊 理慧
委員 吉村 賢一
委員 湯川 逸郎